

月や太陽を調べる時の注意

関連単元

6.月と太陽

○夜空を見よう(4年)

4.月や星(4年)

太陽を実際に観察するとき

- 太陽を観察する場合は、必ず遮光板を使う。絶対に、双眼鏡や望遠鏡で太陽を直接観察させない。
- 月の形の見え方と位置、そのときの太陽の位置を実際に観察するときも、必ず遮光板などを使い、太陽を直視させない。
- 天体望遠鏡の太陽投影版などを用いて観察する場合は、安全を確認しながら、操作は必ず教師が行なう。
- 太陽を観察するときに望遠鏡につける減光フィルターは、専用のものが必要で、肉眼で見るときに用いる遮光板などでは代用できない。

月を実際に観察するとき

- 事前に、月齢カレンダーなどで、昼間に月が観察できる時期を調べておく。
- 昼間の月を、天体望遠鏡や双眼鏡を用いて観察する場合は、必ず指導者立ち会いのもとで行ない、絶対に、太陽を直視させない。
- 夜間に月を観察する場合は、必ず大人と観察するなど、安全確保・事故防止に留意する。詳しくは、4年の「星や月の観察のしかた」を参考にすること。

モデル実験をするとき

- ボールの光の当たった部分の見え方を調べる実験では、電灯の強い光を直接見させないように注意する。
- 使用した電灯を片づけるときには、十分に冷えてから行い、やけどに注意する。

インターネットを活用して調べるとき

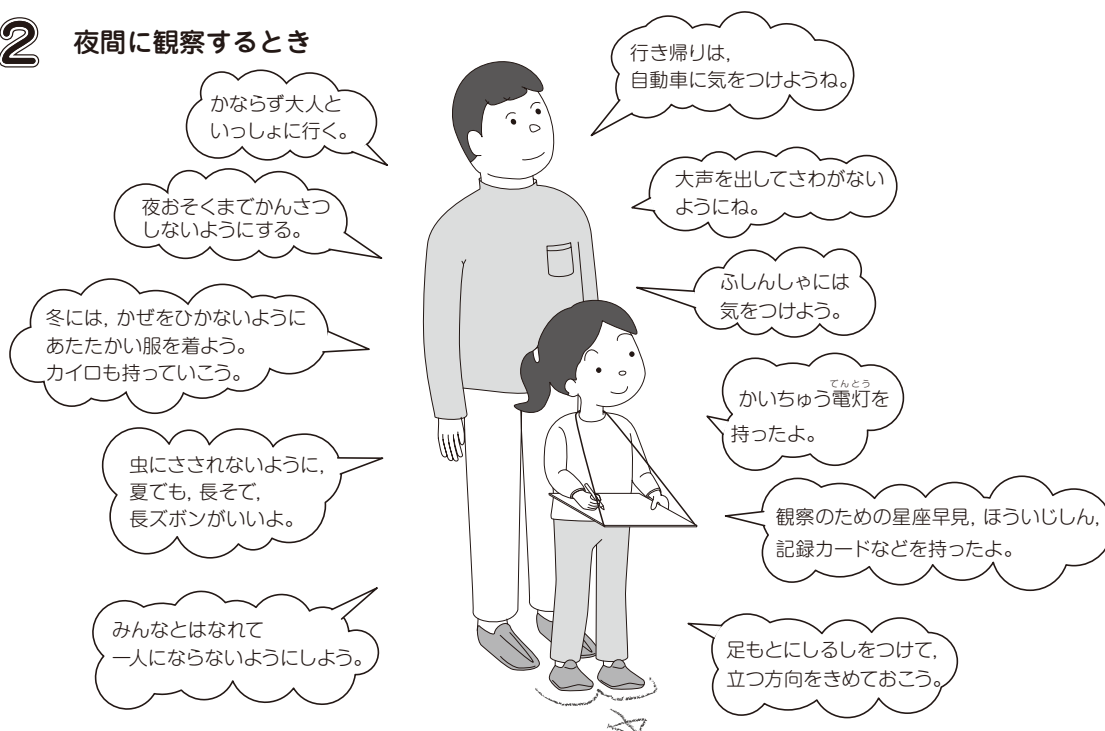
- インターネットの特性と、活用のモラルについて十分に指導する。詳しくは5年の「インターネットを活用するときの注意」を参考にすること。

● 月や太陽を調べるときに気をつけよう ●

1 昼間に観察するとき

- ・ 太陽を見るときは、必ずしゃ光板を使う。目を痛めるので、直接見てはいけない。
- ・ 危険なので、絶対に、そう眼鏡や望遠鏡で太陽を見てはいけない。
- ・ 先生の指示を守って、月や太陽の観察をする。

2 夜間に観察するとき



3 電とうを使って実験するとき

- ・ 目を痛めるので、電とうの光を直接見ない。
- ・ 電とうがついているときや消してしばらくの間は、熱くなっているのでさわらない。
- ・ 電とうが十分に冷えてから片付ける。

4 インターネットを使って調べるとき

